



鴻巣市立下忍小学校

令和4年11月30日発行

# 学校だより

◎教育目標（目指す児童像）  
「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地  
Tel 548-2300

## 「謝」 ありがとう、ごめんなさい

校長 野本 昌宏



先月の終わり、休日に犬の散歩をしていると後ろから二人の小学生が自転車で近づいてきました。私を追い抜いていくときに「こんにちは!」と実にさわやかな挨拶をして通り過ぎていきました。思わず「こんにちは!」と挨拶を返しました。

また、先日の修学旅行では、子どもたちがバスから降りるたびに、運転手さんやガイドさんに「ありがとうございました。」と挨拶をしていることがとても印象に残りました。

どちらも、必ずあいさつをしなければいけないという場面ではありません。特に、後者は、サービスを提供するものと受ける側という見方であれば、必要でないという考えもできるでしょう。

さて、表題の「謝」という漢字ですが、この漢字は「言」と「射」の部分から成り立っています。「言」は取っ手のある刃物と口の象形で「射」は弓に矢をつがえる象形から「放つ」という意味を表しているそうです。このことから、「謝」は、もともと「言葉を放つ」という意味をもっていったようです。さらに、「射」は、弓で矢を放つことで、その後ピント張りつめていた糸がゆるみます。このことから、「話すことで心の負担を軽くしてスッキリする」という意味になるそうです。このようなことから、「あやまる」、「礼を述べる」を意味する、「謝」という漢字が成り立ったとのこと。

経営の神様といわれ、今年8月に逝去した稲森和夫氏は、「感謝の心をペースに生きる」ことを生涯大切にされていました。それは、家族や周囲の人、空気や水や食料など自分を取り巻く、多くの人や物の支えの中で自分が生かされている。人は決して一人では生きていけないという考えからだということです。

人は決して一人では生きていけない以上、人との良好な関係を結んでいくことは、大切なことです。「ありがとう」も「ごめんなさい」も相手に頭を下げることであり、素直に受け入れ、素直に認めることがこの二つの言葉でできるのです。相手のことも自分のことも素直に受け入れ、認められれば相手との関係は円滑に良好になっていくものです。

1年の締めくくりの12月。自分の心を見つめ直し、人との大切なつながりを思い出してみる機会にしたいものです。

## 緊急地震速報訓練 11月2日(水)

11月2日(水)に、鴻巣市の防災無線から流れる「緊急地震速報の訓練放送」を利用し、第一次避難行動の訓練をしました。子どもたちは、担任からの指示を受け、机の下にもぐる等の行動を素早く行うことができました。このようなしっかり行う訓練の積み重ねが、いざとなった時に必ず役に立つと考えています。真剣に行うことのできた下忍っ子は大変素晴らしかったです。



## 音楽朝会 4年生 11月7日(月)

11月7日(月)に音楽朝会を実施しました。市内・地区音楽会に出場する4年生がきれいな歌声を体育館で全校児童に披露しました。4年2組は9日(水)にクレア鴻巣で練習通りに実力を発揮することができました。4年1組は残念ながら学級閉鎖となってしまい出場することができませんでした。12月の懇談会の際に保護者の方に歌声を披露します。



## 下忍ことぶき会の花植 11月21日(月)

本校では、校区内の複数の長寿会の方々との交流の一環として年2回花植活動をしております。今回は下忍地区の長寿会の「下忍ことぶき会」の方々と交流をさせていただきました。

21日(月)雨も上がり、10時から1時間ほどの活動をいたしました。今年もコロナの関係で花植後の給食交流はできませんでしたが、花壇にきれいな花々が並び更に良い学校環境となりました。



## 学校だよりの紙面変更について

学校便りはA3版両面刷りで、地域でも回覧していただいております。また、裏面に下校時刻を掲載しており防犯上の都合等から、今月号より裏面は掲載せず表面をA4版両面刷りで回覧させていただきます。不都合の方は、下忍小学校までご連絡をください。また、PTA広報誌「若葉」につきましてはペーパーレス化等の関係からホームページに掲載することといたしました。よろしくお願いたします。



<https://shimooshi-e-ko-nosu.edumap.jp/> <https://shimooshi-e-konosu.ed>